

授業科目名	ラグビー		授業形態	実技		授業科目区分		専門科目 (関連実技科目)		
担当教員名	森下 大輔					補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		4 5 名程度		
授業の概要	ラグビーの歴史やプレーの原則、競技規則を学習し、ラグビーの理解を深めることができる。 ラグビーの基本的な個人及びチーム技術や特性を学習し、安全かつ楽しくラグビーをプレーすることができる。 ラグビーを安全に実施していくための指導方法を学習し、計画的な練習やゲーム運営ができるようになる。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
				授業期間				定期 試験	その他	割合 %
				授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	・ラグビーの歴史を学習する ・ラグビーの競技規則を学習する ・ラグビー憲章を通してゲームの原則を学ぶ		○	○	○			25	
	■情意的領域	・積極的かつ自発的に授業、課題、ゲームに取り組むことができる		○					25	
■技能的領域	・パス、キック、ランニング、スクラム、ラインアウト、ディフェンスの基本技術を習得し身体表現ができる ・チーム戦術の考え方を習得する		○	○			○	50		
成績評価の基準	授業への参加が2 / 3 以上で、授業への取り組み、態度、技能テストの各合計点が60点以上のものを合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	・競技規則については平成2 6 年度日本ラグビーフットボール協会競技規則ルールブックを参考とする。 ・その他必要に応じて資料を配付する。									
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッセージ含む)						
オフィス・アワー										
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	森下 大輔	オリエンテーション								
2	〃	ラグビーゲームに慣れるための各種ゲーム								
3	〃	基本ルールの理解：得点方法や反則								
4	〃	ランニングスキルの習得とゲーム								
5	〃	ハンドリングスキルの習得Ⅰとゲーム								
6	〃	ハンドリングスキルの習得Ⅱとゲーム								
7	〃	キッキングスキルの習得とゲーム								
8	〃	ルールの理解と競技場作りについて								
9	〃	ゲームの開始と再開Ⅰ：キックオフとドロップアウト								
10	〃	ゲームの開始と再開Ⅱ：スクラムとラインアウト								
11	〃	ゲームの継続Ⅰ：コンタクトとタックル								
12	〃	ゲームの継続Ⅱ：モールとラック								
13	〃	ラグビーゲームの運営と実際Ⅰ								
14	〃	ラグビーゲームの運営と実際Ⅱ								
15	〃	ラグビーゲームの運営と実際Ⅲ								
16	〃	学期末試験（実技テスト）								